

核のゴミをどうするか？

300mの地底に降りてみました

日本原研 瑞浪超深地層研究所、見学記

CANレポーター 大村昌宏



2013/11/23
地下 300m
の坑道

小春日和。11月23日(2013年)CANの事務局メンバー4名で、岐阜県瑞浪市にある原子力機構の研究施設を見学しました。「核のゴミ」をどうするかは私たちの世代に課せられた子孫への責任です。瑞浪の地下施設は、地下処分場についての調査を進めている所です。国民の理解を得ようと施設の見学を受け入れてくれています。

施設見学後、近くの交流会館をお借りして「放射能のゴミはいらない市民ネット」の方と学習・交流することができました。調査研究を名目に行っているが、ここ瑞浪に「最終処分場を作ろうとしている」のではないかと強い危機感を持っておられました。